

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 株式会社 九電工

上場取引所 東 福

コード番号 1959 URL <http://www.kyudenko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 橋田 紘一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 塩月 輝雄

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 092-523-1239  
平成21年12月1日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	97,505	△11.0	1,765	△17.3	2,555	△12.2	1,546	5.8
21年3月期第2四半期	109,538	—	2,134	—	2,911	—	1,461	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	20.78	—
21年3月期第2四半期	19.63	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	209,380	87,848	41.5	1,168.55
21年3月期	223,875	86,330	38.2	1,148.17

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 86,979百万円 21年3月期 85,474百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	7.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無  
配当金の内訳 記念配当 2円00銭

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	238,100	△3.0	5,500	△21.6	6,500	△20.7	3,700	311.5	49.71

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[ (注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[ (注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	83,005,819株	21年3月期	83,005,819株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	8,571,739株	21年3月期	8,561,537株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	74,438,633株	21年3月期第2四半期	74,495,295株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考) 平成22年3月期の個別業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通 期	百万円 % 215,000 △3.4	百万円 % 5,100 △18.0	百万円 % 6,000 △16.9	百万円 % 2,700 —	円 銭 36.26

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国の経済は、経済危機対策等の効果もあり、景気底打ちとの見方がされたものの、円高・雇用情勢の悪化・民間設備投資の停滞などに加え、歴史的な政権交代も重なり、先行き不透明感の強まりとともに、景気の更なる底割れも懸念される状況で推移いたしました。

建設業界におきましては、こうした動きを背景に、建設市場縮小による受注・価格競争が熾烈を極めるなど、業界を取り巻く環境は、極めて厳しい状況が続いております。

このような情勢のなか当社グループは、特に首都圏における営業強化、PFI・環境関連などの新たな事業領域への取り組みに加え、更に地域密着営業の徹底や緊急経営対策の強力な推進など、経営課題に全力を傾注いたしました。

こうした事業運営の結果、当第2四半期累計期間の工事受注高は、1,147億37百万円（前年同期比11.2%減）、売上高は、975億5百万円（前年同期比11.0%減）、また、利益面におきまして、営業利益は17億65百万円（前年同期比17.3%減）、経常利益は25億55百万円（前年同期比12.2%減）、四半期純利益は、15億46百万円（前年同期比5.8%増）を確保しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の資産合計は、営業債権の回収に伴い受取手形・完成工事未収入金等が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ、144億94百万円減少し、2,093億80百万円となりました。

負債合計は、仕入債務の決済による支払手形・工事未払金等の減少や借入金の減少などから、前連結会計年度末に比べ、160億12百万円減少し、1,215億32百万円となりました。

純資産合計は、配当金の支払による減少がありましたものの、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加に加え、株価の持ち直しにより、その他有価証券評価差額金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ、15億17百万円増加し、878億48百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期通期の業績予想につきましては、今後の景気見通しが、雇用情勢の悪化や民間設備投資の停滞など依然として厳しい状況にあり、工事量の更なる減少が懸念されます。

従いまして、現時点では前回発表予想（平成21年5月12日）から変更しておりません。

今後業績予想を修正する必要が生じた際には、速やかにお知らせいたします。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

なお、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は20億80百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ55百万円増加しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	13,984	14,927
受取手形・完成工事未収入金等	54,627	68,188
有価証券	164	115
未成工事支出金	27,352	27,783
不動産事業支出金	1,178	1,111
商品	958	1,318
材料貯蔵品	704	654
繰延税金資産	3,350	3,313
その他	2,036	2,600
貸倒引当金	△802	△996
流動資産合計	103,554	119,016
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	29,940	29,996
土地	26,708	26,781
その他(純額)	10,660	9,639
有形固定資産合計	67,309	66,418
無形固定資産	1,028	1,177
投資その他の資産		
投資有価証券	21,316	21,068
長期貸付金	731	775
繰延税金資産	11,840	11,642
その他	8,618	8,826
貸倒引当金	△5,018	△5,049
投資その他の資産合計	37,488	37,263
固定資産合計	105,826	104,859
資産合計	209,380	223,875

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	30,012	44,061
短期借入金	13,683	15,018
未払法人税等	1,526	601
未成工事受入金	25,592	23,274
役員賞与引当金	72	137
工事損失引当金	542	430
その他	5,405	6,263
流動負債合計	76,835	89,786
固定負債		
長期借入金	12,716	15,343
長期未払金	2,704	2,817
退職給付引当金	26,501	26,818
役員退職慰労引当金	176	198
負ののれん	74	58
その他	2,523	2,522
固定負債合計	44,697	47,759
負債合計	121,532	137,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,901	7,901
資本剰余金	7,889	7,889
利益剰余金	74,691	73,516
自己株式	△3,764	△3,757
株主資本合計	86,718	85,550
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	328	2
為替換算調整勘定	△67	△78
評価・換算差額等合計	261	△75
少数株主持分	868	855
純資産合計	87,848	86,330
負債純資産合計	209,380	223,875

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高		
完成工事高	102,457	91,134
その他の事業売上高	7,081	6,371
売上高合計	109,538	97,505
売上原価		
完成工事原価	92,183	81,841
その他の事業売上原価	6,194	5,432
売上原価合計	98,377	87,273
売上総利益		
完成工事総利益	10,274	9,293
その他の事業総利益	886	938
売上総利益合計	11,161	10,231
販売費及び一般管理費	9,026	8,466
営業利益	2,134	1,765
営業外収益		
受取利息	134	40
受取配当金	142	141
受取保険金及び配当金	374	354
負ののれん償却額	9	13
その他	408	377
営業外収益合計	1,069	927
営業外費用		
支払利息	108	43
持分法による投資損失	22	42
その他	160	51
営業外費用合計	292	136
経常利益	2,911	2,555
特別利益		
前期損益修正益	797	242
固定資産売却益	15	276
その他	30	71
特別利益合計	844	590
特別損失		
前期損益修正損	33	57
固定資産処分損	29	16
減損損失	65	—
投資有価証券評価損	376	254
割増退職金	131	64
投資損失引当金繰入額	371	—
その他	92	110
特別損失合計	1,099	504
税金等調整前四半期純利益	2,656	2,641
法人税等	1,200	1,078
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△6	15
四半期純利益	1,461	1,546



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. 【その他の情報】

〔参考〕個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

平成22年3月期第2四半期の個別業績 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	88,603	△10.7	1,672	△28.0	2,522	△19.2	1,521	74.5
21年3月期第2四半期	99,204	—	2,323	—	3,120	—	871	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	20.43	—
21年3月期第2四半期	11.70	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	165,173	74,006	44.8	994.00
21年3月期	178,382	72,548	40.7	974.29

(注) 参考として開示した個別業績の概要は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

〔参考〕四半期受注の状況 (連結・個別)

(1) 連結受注実績

(単位：百万円)

区 分		前年同四半期連結累計期間 (20.4.1～20.9.30)	当四半期連結累計期間 (21.4.1～21.9.30)	比較増減	増減率	
設備 工事業	工事 種別	配電線	27,601 (21.4%)	26,658 (23.2%)	△942	△3.4%
		屋内線	64,962 (50.3)	55,905 (48.7)	△9,056	△13.9
		空調管	36,628 (28.3)	32,173 (28.1)	△4,455	△12.2
		計	129,191 (100.0)	114,737 (100.0)	△14,454	△11.2
	受注 先別	九州電力(株)	27,967 (21.6%)	27,116 (23.6%)	△850	△3.0%
		その他	101,224 (78.4)	87,620 (76.4)	△13,604	△13.4
計		129,191 (100.0)	114,737 (100.0)	△14,454	△11.2	

(2) 個別受注実績

(単位：百万円)

区 分		前年同四半期累計期間 (20.4.1～20.9.30)	当四半期累計期間 (21.4.1～21.9.30)	比較増減	増減率	
設備 工事業	工事 種別	配電線	26,900 (21.6%)	25,931 (23.5%)	△968	△3.6%
		屋内線	62,184 (50.0)	53,896 (48.8)	△8,287	△13.3
		空調管	35,403 (28.4)	30,516 (27.7)	△4,887	△13.8
		計	124,488 (100.0)	110,344 (100.0)	△14,143	△11.4
	受注 先別	九州電力(株)	27,404 (22.0%)	26,581 (24.1%)	△823	△3.0%
		その他	97,083 (78.0)	83,763 (75.9)	△13,320	△13.7
計		124,488 (100.0)	110,344 (100.0)	△14,143	△11.4	

(注) ① 受注高は当該四半期までの累計額。(設備工事業以外は受注生産を行っていない)

② パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示す。

③ ( )内のパーセント表示は、構成比率を示す。